

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

事業コード	28	事業名	女性部中期活動ビジョンの実施			戦略コード	3	戦略名	事業者が主役の商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	経営支援課	担当課長名	佐々木隆太	施策コード	14	施策名	青年部・女性部中期活動ビジョンの策定		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

各商工会の青年部・女性部は、地域づくりの原動力として重要な役割を果たしているが、部員数の減少等により組織活動は厳しい状況に置かれている。

2. 事業のねらい

将来を見据えた青年部・女性部活動について、主体的・自律的な活動を展開していくための中期活動ビジョンを作成する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	-	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
67	女性部中期活動ビジョンの策定・実施	平成29年度策定、平成30年度から実施	a	a	a	A
68	地域特産品の企画・開発	おもてなしプランのお土産品として、全商工会女性部で開発に着手	a	c	b	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	68					取組コード						取組コード					
指標名	成果品数					指標名						指標名					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標	5品	10品	15品	21品	21品	目標						目標					
実績	0	2				実績						実績					
達成率	0%	20%				達成率						達成率					
達成度	c	c				達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈評価の理由〉

ビジョンに基づく取組は組織強化に必要不可欠であるとともに、地域特産品の開発は地域の活力向上に有効である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

地域特産品の開発としては目標に達していない。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

ビジョンに基づく取組は、様々な面でコスト削減につながる。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

全商工会女性部がおもてなしプラン策定に着手できた。

3. 課題

おもてなしプランを通じた地域の活力向上につながる取組を検討する必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

全商工会女性部がプランを策定し、利用者へのお土産品としての地域特産品開発につなげる。